

CASBEE® 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

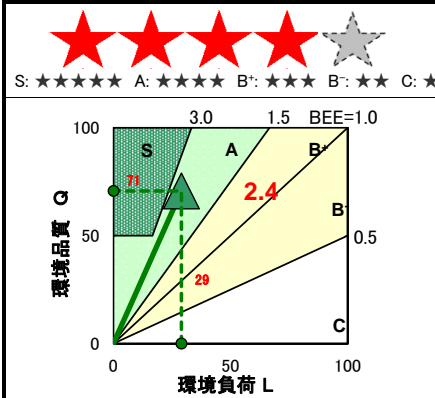
1-1 建物概要

| | | | | |
|-------------|--------------------|----------|---------|------------|
| 建物名称 | 新藤邸新築工事 | 仕様等の確定状況 | 建物の仕様 | 確定 |
| 竣工年月 | 2012年12月 | 竣工 | 持ち込み家電等 | 確定 |
| 建設地 | 埼玉県 | | 外構の仕様 | 確定 |
| 用途地域 | 近隣商業地域 | 確定 | ＜備考＞ | |
| 省エネルギー-地域区分 | IV | | | |
| 構造・構法 | 木造在来軸組工法 | 確定 | | |
| 階数 | 2 | | | |
| 敷地面積 | 133 m ² | 確定 | 評価の実施日 | 2013年6月15日 |
| 建築面積 | 65 m ² | 確定 | 作成者 | 小宮 光太 |
| 延床面積 | 129 m ² | 確定 | 確認日 | 2013年6月15日 |
| 世帯人数 | 1 | 確定 | 確認者 | 小宮 光太 |

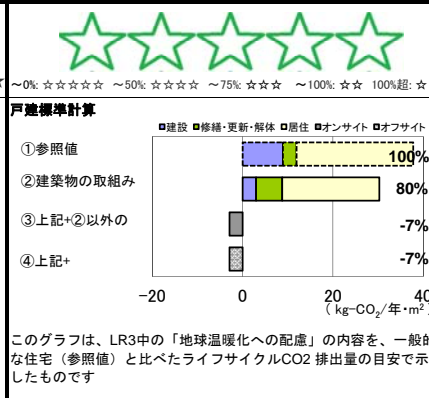
1-2 外観



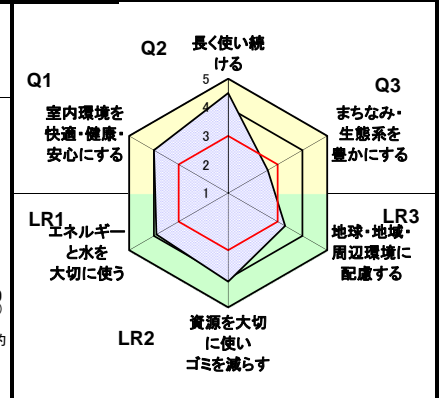
2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



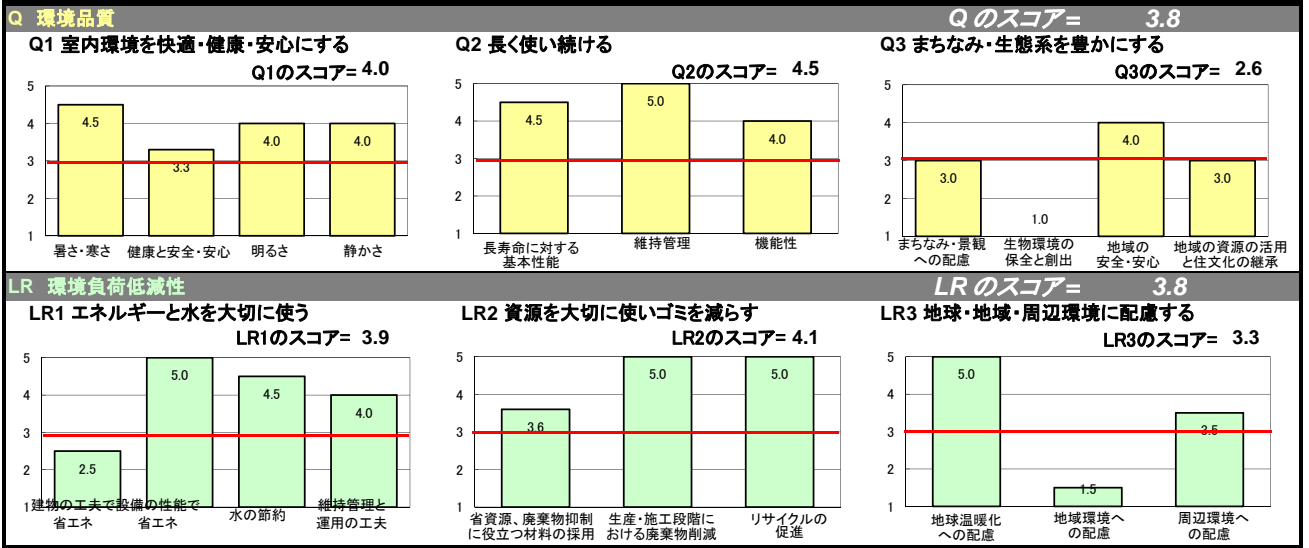
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

| | | |
|---|---|--|
| <p>総合</p> <p>●周辺も家が建ち並ぶ住宅地の中で出来る省エネで環境負荷を低減した家づくりを目指した ●建築物の取組みにて省CO₂を回り、残りを創エネの効果によりLCCM住宅を目指した</p> | <p>その他</p> <p>●建築環境性能を高める様に進める中で、住まい手の意識も向上した</p> | |
| <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>●省エネ等級4の断熱性能 ●日射侵入率0.41遮熱Low-Eの日射遮蔽 ●各居室2方向開口 ●地熱利用のHPエアコンの適切な冷暖房 ●化学汚染物質、屋光利用、静かさは性能評価書にて証明 ●補助ロック付サッシ、2ロック玄関ドア</p> | <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>●劣化、耐震、耐火、警報、維持管理、高齢者配慮は性能評価書にて証明 ●外壁・屋根共に乾式方法を採用し交換時の配慮 ●定期的な点検補修・追跡調査出来る維持管理体制 ●入居数1名で広さ・収納・設備が充実</p> | <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>●建物を突出せず後退させた ●森林組合と連携した産業構造から産出した木材</p> |
| <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>●地熱利用「ジオシステム」で高効率の冷暖房・給湯システムを採用 ●断熱外皮の内側に断熱浴槽 ●台所・浴槽に節湯水栓 ●家電・厨房機器の取組み ●省エネナビ採用 ●太陽光発電システム採用で省エネルギー率1.19</p> | <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>●構造材のすべてにCOC認証材 ●高炉セメント採用 ●省資源・廃棄物抑制に役立つ内外装材 ●副産物の発生抑制した生産・施工体制 ●住まい手への使用材料情報提供</p> | <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>●ライフサイクルCO₂排出率0% ●地熱利用「ジオシステム」で騒音・排熱抑制</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)